

室温 25℃で仕事の効率向上 残業削減でトータルするとプラスに

資源エネルギー庁のホームページによると、

夏の冷房時の室温は 28℃を目安に。

外気温度 31℃の時、エアコン (2.2kW) の冷房設定温度を 27℃から 28℃にした場合 (使用時間：9 時間/日)

年間で電気 30.24kWh の省エネ、原油換算 7.62L、CO2 削減量 14.7kg 約 670 円の節約

2.2kW は 6～9 畳用のエアコンです。「年間で」との記載がはっきりしませんが、外気温度を 31℃と決めてあるので、解釈によっては 365 日間ということにもなります。

新聞記事の市役所の事務室広さを仮に 10 倍の 90 畳 (10m × 15m) としたときには、3℃の温度差で年間 670 円/年 × 10 倍 × 3℃ = 約 2 万円。夏季を 3 カ月、その間の就労日数を 60 日とした場合には、電気料金の増加は一日あたり約 300 円強となります。

この事務所に何人の職員が在籍するかは不明ですが、この一日あたりの金額は、職員一人が残業を 1 時間取りやめれば十分にペイする金額となります。仕事の効率を上げ、一斉帰宅時間を設定すればトータルでプラスとの計算です。

問題の本質は CO2 の排出量にあります。仮計算した事務所での CO2 の増加量は、 $14.7 \times 300 / 670 = 6.6\text{kg/日}$  となります。

神戸新聞 2019.7.2

### クールビズより仕事の効率!?

## 姫路市役所室温 25 度に

### 全国初、残業減へ実証実験

公務員の働き方改革に伴う実証実験として、姫路市は 1 日、市役所本庁舎で今夏の冷房時の室温を 25 度にすると発表し、環境省が目安とする 28 度が官公庁の通例だが、涼しい環境で作業効率を上げ、残業時間を減らす狙い。同省によると、全国の自治体で初の取り組みという。

環境省は、夏季のクールビズの実施に伴い、冷房時の室温の目安として 28 度を推奨。姫路市を含む各自治体が冷房の設定温度としている。

これに対し、医師でもある清元秀泰姫路市長は「室温が 25 度から 28 度になると、作業効率が 6% 低下する」との専門家に

よる分析を紹介。実証実験で調

べることにした。

梅雨明け時期の 16 日から 8 月 30 日までの開庁時間に試行する。残業時間や電力使用量の比較のほか、効率や快適性などを尋ねる職員アンケートなどで効果を検証し、来夏以降の導入の可否を決める。

清元市長は「省エネに逆行するつもりはなく、働き方改革をポジティブに進めるため」と強調。同省国民生活対策室は「28 度はあくまで目安で、庁舎の室内温度の設定は自治体の判断に任せている」としている。

(小川 晶)

小学校でも学習能率の向上が見込める。こちらの記事は湿度の低下にも触れている。

神戸新聞 2019.7.2

## 16小中学校で エアコン稼働 児童ら「集中できる」

高砂

高砂市内の小中学校の教室にエアコンが導入され、1日から一斉に稼働が始まった。子どもたちは大喜びで、涼しい風を浴びながら机に向かっていた。

昨夏の猛暑を受け、同市が昨年9月に設置の方針を明らかにした。1月から工事が始まり、小学校10校、中学校6校の計約350教室に設置。全ての公立小中学校に設置されるのは東播磨2市2町では初めてで、他の市町でも来年7月までに全ての学校で設置が完了する予定。

同市阿弥陀町の阿弥陀小学校では20教室でエアコンが動き始めた。9月末まで運用し、室内を28度に設定するという。

動き始めたエアコンに大喜びの児童ら＝阿弥陀小学校



5年2組では担任の宮田利江教諭が「遠くから歩いて学校に来る児童のために」と登校時間の前から冷房を設定。教室に入った子どもたちは歓声を上げていた。教室内の湿度は、外よりも10%以上低くなった。

（小森有喜）

会社勤めの現役時代には、定期パトロールで 28°C の順守を徹底していたが、室内の湿度が高く、もちろん熱いと感じながらの仕事であった。決して環境の良い職場とは言えなかったと思う。当然、その熱さは仕事の効率にも影響した。姫路市の取組（実証実験）が成功することを期待している。